

登録コード	FSJ07500	開講年度	2026					
授業題目	応用昆虫学特論					担当教員	白井 孝治	
英文授業名	Topics in Applied Entomology					副担当		
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】	
	26FS初・繊維学							
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力					⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力	
	【専攻】繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力					⇔	繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力	
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力					⇔	専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力	
(2)授業の概要	優れた研究の戦略と成果、考察の仕方について予習と学習・討論することで理解を深める。							
(3)授業計画	受講者には後日、講義日程をe-Alpsやメールでお知らせします。登録を必ずしておくように。90分の講義ですが、集中のため実際の開講時間はメール等でお知らせします。 昆虫科学の近年の話題を中心に、研究背景、現在の状況、将来の展望について考え、学習する。（講義内での授業アンケートを含む） 講義は6月下旬（最終週あたり）を予定している。登録者には確定後e-Alpsメールで連絡する。							
(4)成績評価の方法	講義への積極的な参加（40％）とレポート（60％）により評価する。レポートは最近の昆虫に関する研究課題よりテーマを選定し、内容、問題点、今後の展望などについて考察したものを提出させる予定である。レポートは以下の様に評価する。(1)問題の設定が適切であり，(2)その問題の背景を説明できており，(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(5)その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。							
(5)成績評価の基準	昆虫学の研究について具体的に考え、解決する能力の養成を目標とする。優の受講者の中でも卓越したものは秀、優れたものは優、標準的な場合は良、一定基準以上の能力が身につけている場合は可とする。評価基準は「成績評価の方法」を参照されたい。							
(6)事前事後学習の内容	課題を設定し予習をおこない、講義の終了後にレポートの作成をもって事後学修とする。課題は必ず提出するように。							
(7)履修上の注意	自分自身で学ぶ姿勢が重要です。 講義は6月下旬（最終週あたり）を予定している。登録者には確定後メールにて連絡する。							
(8)質問,相談への対応	時間の許す限り対応します。メールなどで教員の予定を確認してください。							
(9)授業の形式	講義およびレポートによる演習形式。							
(10)学生へのメッセージ	昆虫の持つ優れた能力に対する研究の一端をご紹介しますと思います。							
【教科書】	特になし。							
【参考書】	特になし。							